

グループホーム暖らん 令和6年度第4回 運営推進会議 議事録

日時：令和6年11月26日（火曜） 15時00分～15時40分

出席者 民生児童委員、地域委員、出雲市高齢者福祉課、出雲市高齢者あんしん支援センター、
理事長、計画作成担当者

1. 利用状況（11月26日現在）

○ 現入居者 9名（定員9名）

年齢別

前回：平均 91.1 歳

今回：平均 91.4 歳

	男	女
80歳代	1	2
90歳代	1	5

要介護度別

前会：平均 2.3

今回：平均 2.7

	男	女
要介護1	1	1
要介護2	0	2
要介護3	0	3
要介護4	1	0
要介護5	0	1

要介護度の増加については認定調査が2件あり、それによる変更で介護度が増加したことが理由です。11月にも1件認定調査がありました。結果はまだですが、調査時の様子や調査員の説明からおそらく増加すると思われます。

委員：グループホームに入居してから介護度、体調や精神面が改善したというケースはあるか

＜回答＞ 在宅生活から入居されて介護度が改善した方がある。病院から入居され、顕著に心身面が改善していった方がある。また入居してしばらくは精神面の不安定さが大きかった方が時間の経過とともに落ち着いて行かれた方があります。

○ 利用待機者 7名

前回の会議から8件ほど問い合わせがありましたが、見学希望や入居待ちの申し込みではなく即日入居の問い合わせがほとんどです。その時に入居待ちの提案もさせていただいておりますが、「すぐに入居できないなら結構です。」というお断りが多い印象です。引き続き対応して参ります。

委員：入居の問い合わせのみで入居申し込みに至らないケースが多いとのことだが、問い合わせ8件の中で入居申込に至った、または問い合わせのみで終わった件数の内訳がわかるようになっていると良い。

＜回答＞ 今後それも明らかになるように記録してゆきます。

委員：部屋が空いて待機者の中から入居者を選定して入居に至る手順や基準はどのようなものか。

＜回答＞ まず申込者に連絡をして、現在の状況を調査します。申し込みの順番、緊急度、対象者が共同生活によって自分らしく認知症があっても生活するというグループホームの目的にあった方であ

るかどうか、などを考慮して決定しています。待機者の中に、時間の経過によって既に他施設等に入居が決まったというケースもあります。

委員：要介護の高い方もおられるが、最後を暖らんで迎えるという意向の方はおられるか。

<回答> はっきりとご家族がその意向を表明されている方、病院でできるだけ治療を受けることを希望される方もおられます。訪問看護ステーション、医師と連携して看取りも含めた、重度化への対応はしてゆきたいと研修など準備しています。今年になって入院してそのまま亡くなられた方がおふたりおられます。まだ最期を暖らんで迎えられた方はありません。

2. 10月～11月間のヒヤリハット・事故報告件数について

ヒヤリハットは13件でした。内訳ではセンサー関連が10月に3件と最多で、鳴っていることに気付くのが遅れた、センサーの付け忘れなどが原因でした。その後10月の職員会議で振り返りを行い11月の発生件数は1件と減少しています。

事故報告は2件でした。入浴時の着替えで右の手の甲をご利用者本人がひじ掛けにぶつけてしまい内出血ができてしまった。訪室時に右脛のところに表皮剥離と出血が見られたことが事故内容となっています。11月に入り事故は発生しておりません。ご利用者様が安心・安全にお過ごしいただけるよう小さなヒヤリハットを見逃さず大きな事故が起こらないように職員間で情報共有しケアに取り組んでいきます。

委員：事故の最初のケースの方は、その原因はなんだったのか。

<回答> 日頃、車椅子を使っておられる方だが、フットレストが車椅子本体に固定されているタイプであるため、移乗する時、または自操する時にフットレストに当たってしまったのではないかと考えている。そのため、フットレストが取り外しできるタイプのものに交換して対応を行ったところだ。

3. 令和6年度外部評価制度について

年度はじめに外部評価実施回数特例適用申出書を島根県に提出し、外部評価実施回数特例適用通知書により適用の可否において可となりました。これにより令和6年度の外部評価の実施がなくなり、来年度に外部評価を実施する運びとなりました。ただし、“事業者は、申出により当該事業所が外部評価を行わない年は、自主的な自己評価等の取組みによりサービスの質の向上に努めなければならない。”とされており、暖らんの介護サービスの質の向上のためにも自主的な自己評価等に取り組み、目標を確認していく必要があると考えております。第6回の運営推進会議において自己評価と目標について報告させていただきたい所存です。よろしくお願いします。

委員：6年度はどのような方法で評価を行ってゆくのか。

<回答> 外部評価機関による評価項目によって自己評価を行い、同様に来年度に向けた改善目標も設定する計画です。第6回目の運営推進会議で報告し、ご意見を伺いたいと思います。

4. 9月以降の主な行事や活動

詳細は別紙「暖らん便り」no.31をご覧ください。

9月は敬老会、おはぎ作りなどのイベントがありました。ひかり保育園の梨狩りにも同行させていただきました。敬老会の日に鍋をして食材の調理などをご利用者にお手伝いいただきました。米寿と卒寿

の方がおられ、午後にお祝いも行いました。

10月には涼しくなってきたこともあり、外出で花の郷に行き季節の花をご覧いただきました。保育園との交流ではサンマ焼きやさつまいも掘りがありました。なかでもさつまいもは暖らんの駐車場の土地の一部に畑を作り芋の苗植えからスタートしたもので、収穫をご利用者の方々も喜ばれておられました。

保育園園長でもある理事長から保育園と介護事業所の連携による行事について補足的に説明があった。

5. 研修について

- ・嚥下機能研修（9月27日 職員会）
- ・管理者研修（管理者）（10月9日～10日）（暖らん・ZOOM）
- ・リスクマネジメント研修（10月25日 職員会）
- ・身体拘束（11月22日 職員会）

6. その他

委員：今回の会議の案内の体裁（レイアウト、行間など）に改善されるべき点が見られたので気をつけてほしい。

<回答>申し訳ございませんでした。送付する前に点検することができなかったためと思われます。

今後、注意してまいります。